



# 2630 Nakatsugawa Center Rotary Club

築こう更なる友情

サブテーマ : 深めよう信頼と絆

広げよう友情の輪

2011～2012年度 RIテーマ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011年9月26日 No.1669

## 本日のプログラム

<メダカ池清掃例会>

1. 開会点鐘
2. ゲスト紹介・メダカ保存協会より
3. 会長の時間
4. 環境保全委員長挨拶及び本日の作業について説明
5. 食事と交歓
6. 閉会点鐘  
移動
7. 清掃作業

## 今後のプログラム

- 10/1 東濃分区分 IM
- 10/3 東濃分区分 IM 報告会
- 10/10 法定休日
- 10/17 米山奨学生報告

## 前回の出席率

9/12	81.40%(35/43)
会員総数	45名
出席免除者	3名
9/8	補正 86.36% (38/44)

## メーカーキャップ

織田光好君、丸山充信君、立木亮治君、吉村浩平君、小倉忠雄君(中津川)・可児豊司君、板頭鈔三君(D2630)

## 会場設営

9月度：職業奉仕・社会奉仕  
10月度：新世代・出席・会報

## 東日本支援事業報告

中津川建設協会 中青会

前会長 片田 博昭

今回、堀さんより石巻でのボランティア活動の話をお願いがありまして、話しをさせていただき事となりました。宜しく申し上げます。

話の前に、今回の東日本大震災で亡くなられた方、又被災にあわれた方に心よりお見舞い申し上げたいと思います。

それでは、今回石巻市に行く事になった経緯と活動内容、感想を話させて頂きたいと思っております。

経緯と活動内容は、3月11日の東日本大震災後、3月末から4月上旬に掛けて、中津川建設協会青年部の中青会で東北へ支援物資を届けようと話が持ち上がり、物資を届けるに当り被災地で何が求められているのか、色々なところから情報を集めました。被災地が広範囲だった為、場所場所によって必用としている物が違い、又日々必要とされる物が変わる為、被災地への最良の物資がなかなか決められず、結局、義援金という形での支援となってしまいました。

しかし、その後に中津川市の市民ボランティアより第2期市民ボランティア派遣と一緒に、専門ボランティアの派遣要請が、中津川建設協会にあり、理事長と中青会で協議しその要請を受ける事となりました。ボランティアは5月3日から5月4日、往復の移動に2日、現地での活動に2日の4日の工程で、現地では、瓦礫の撤去、運搬、処理というものでした。

準備として、市民ボランティアの代表と繰り返し打合せを行い、専門ボランティアとしての活動内容を確認した上で、中青会メンバーを中心とした派遣メンバーを10名決め、活動の使用機械を重機及び重機回送車1台、4tダンプ3台、サポートカー1台の計5台を選定しました。

行くに当り、石巻災害復興支援協議会や市民ボランティアとも連絡をとり、情報を収集していましたが、3・4日すると状況が変わり、持ち込む機械を2度、3度と変更しました。又、往復の経路に関しても、帰りは確実に通行できる新潟周りで帰ると決めましたが、行きのルートは、東北自動車道が福島原発や余震の関係で不通になる恐れがありなかなか決められず、当日の高速道路情報によりルート選択をしながら現地へ向かいました。

こちらから、準備したのも非常に気に使い、身に付ける物も、防護メガネ、アスベスト対応防塵マスク、毎日交換するためのフィルターを準備し、長靴は踏み抜き防止の鉄板入りを用意し、作業中は身に付けて活動をしました。

その他にも、非常用の水、食料、車輛の予備燃料も携行していきました。

5月3日に現地に入り、5月4日ボランティア活動の初日は、石巻災害復興支援協議会に行き、作業内容、作業方法を打合せ、作業場所へは自分たちで行き作業を行うよう地図を渡されるという状況で、協議会の人たちも人手不足を感じました。活動場所では、市街地の道路脇に、津波より使えなくなった家具・家電家財や畳、家の中に流されてきた泥を土嚢袋に詰めたものが山積みされておりその瓦礫を重機や人力でダンプに積込、仮処分場に運搬処理する作業を行って来ました。作業2日目も同じ場所で瓦礫の撤去、運搬処理の作業を行いました。2日目は、初日の打合せや交通渋滞で思うように作業が進まなかった為、休憩、昼食は交替で行い作業を止める事無く行いました。2日間で瓦礫は、4tダンプで43台分およそ180tを撤去、運搬し、道路約150mを片付けることが出来ました。

(裏面に続く)

## 四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

## 【発行責任者】

会長 鷹見憲三  
幹事 堀正勝  
会報 吉村浩平  
(原稿送付先:  
yoshimura@systemy  
o.co.jp)

例会場: 中津川商工会議所

例会日: 月曜日 12:30 ~ 13:30

事務局: 中津川商工会議所 3階

TEL: 0573-66-7301 (事務局)

携帯: 090-1283-8618 (堀幹事)

E-mail: [info@2630ncrotary.org](mailto:info@2630ncrotary.org)

URL: <http://www.2630ncrotary.org>

(表面からの続き)

又、石巻市では、瓦礫撤去の他に、中津川市で毎月第1日曜日に行われている六歳市に、中津川建設協会も翌月の6月5日に出張ブースを設けて、宮城、石巻物産展を開催すると言うことで、石巻市の野菜市場、酒屋、海産物店、お土産屋と協議、打合せを行い、六歳市用の商品の買付けにも回りました。

そして、6月5日に行われました六歳市において宮城、石巻から多くの品物を送って頂き、仕入れた品物全てが完売することが出来ました。一部品物は数が足らず楽しみに買いに来ていただいた方に残念がられる程でした。六歳市では、物産展で買い物をして頂いた方たちにも協力していただき中津川からの東北支援が出来ました。

以上が、今回、中津川建設協会で行った東日本大震災支援事業です。

今回石巻市に行って感じた事は、テレビで報道され津波被害のあった所はテレビの如く何もなくなってしまったり、瓦礫の山となってしまうと悲惨な状況でした。しかし、津波被害の無かった所は、ライフラインが使用できず不便な生活はされていましたが、普段の生活をされ被災場所により両極端でした。

ライフラインの道路など、津波の被害の遭ったところは地元の建設業者が、瓦礫の撤去、整備を行い、主要幹線道路や高速道路などは仮復旧され早期に通行が確保されていました。同じ建設業に携わるものとして、災害時には自分たちも早期対応出来る様に体制を考えておかなければいけないと思われました。

また、その体制においても2~3日は対応できるよう非常用食料、機械器具の確保、そして、その機械器具が、常に使用できるよう心掛けておかなければと思いました。

又、今回のボランティア活動で、瓦礫の撤去区間に消防部庫があり、たまたまその部庫の分団長さんと話す機会があり、当時の状況を伺うことが出来ました。11日の大震災の津波後、一部地域で火災が発生し、3日間消火活動を行ったそうです。その際、5つ程問題が起きたと言われました。

第1に、通信手段がなくなってしまったと言う事。携帯電話は、最初に使用が出来なくなり、後に無線も使用できなくなってしまったそうです。非常用電話が各部にあったそうですが、経費節約のため廃止したばかりだったそうです。第2に、水利の確保が出来なかった。津波により市街地では、消火栓、防火水槽も使用できなくなり、高台の学校のプール等から沢山のホースを使い、中継し消火用水利を確保したそうです。学校のプールも1校だけでなく何校からも水利として利用したそうです。第3に、自動車ポンプ、可搬ポンプの燃料が無くなってしまい近所からガソリンや灯油を分けてもらい3日間ポンプを稼働させる事が出来たそうです。第4に、食料が無く避難所に食事を分けて貰いに行ったそうですが、分けてもらえず、水に浸かった物でも食べられるものを食べて活動し、最後にはアメリカ軍から非常食を分けてもらったそうです。そして、第5に横になって仮眠することが出来ず、椅子に座ってしか仮眠を取ることが出来なかったという事でした。

やはり、消防団も2日から3日程度は断続的に活動できるように、機械器具の燃料や非常用食料の備蓄は最低限必要であるし、仮眠用の毛布なども確保できればさらに良いと思えました。只、分団長さんと話した中で、特に通信手段、連絡方法については、よく検討しておくべきだと言われました。消防団活動をしている者として、この件についても考えさせられました。

携帯電話は、普段とても便利で、無くてはならない物になっていますが、災害時には早くに連絡が取れなくなってしまったそうです。家族、会社等との連絡方法、連絡手段は検討しておいたほうがよいということでした。とにかく連絡が取れない、情報が得られないという状況を考えて、皆さんも対策をしていただければと思います。

最後に、今回、石巻市でのボランティア活動の報告、発表の場を頂きありがとうございます御座いました。

### 例会フォト



例会講師 塚本渉平様



会長の時間 (伊藤副会長)



### SmileBox

・本日の講師塚本渉平先生お世話になります。宜しくお願ひします。

会長 鷹見憲三  
副会長 伊藤博行  
幹事 堀 正勝

・本日は新世代委員会担当の卓話です。元メンバーの松下邦雄先生よりご紹介頂いた塚本渉平先生です。生徒指導で活躍されている、経験豊富で情のある先生です。どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

新世代委員会

・講師塚本先生本日は有難うございます。宜しくお願ひ致します。

中京学院大学 田中信博

・誕生日を祝って頂き有難うございます。苦をば苦と悟り苦楽共にお役に立つ人生と9月9日生れです。81歳まで頑張る覚悟です。今後とも宜しく。

堀 務

・妻の誕生日を祝って頂き有難うございます。

伊藤 隆 小木曾孝司  
南 裕之 郷原基幸  
石川英治 柘植信成  
春日井浩二

・結婚記念日を祝って頂き有難うございました。

春日井浩二 田中信博

・来る9月30日 JAZZ SINGER 今岡友美さんが、2nd Album リリースの記念ライブをマジョリカ・バンブーで行います。楽しい一時になると思いますのでお時間の許される方、どうぞお越し下さい。

赤座 薫